

# もじはら

平成二十五年は、第二祖日向聖人の七百遠忌です

題字・持田日勇真首祝下

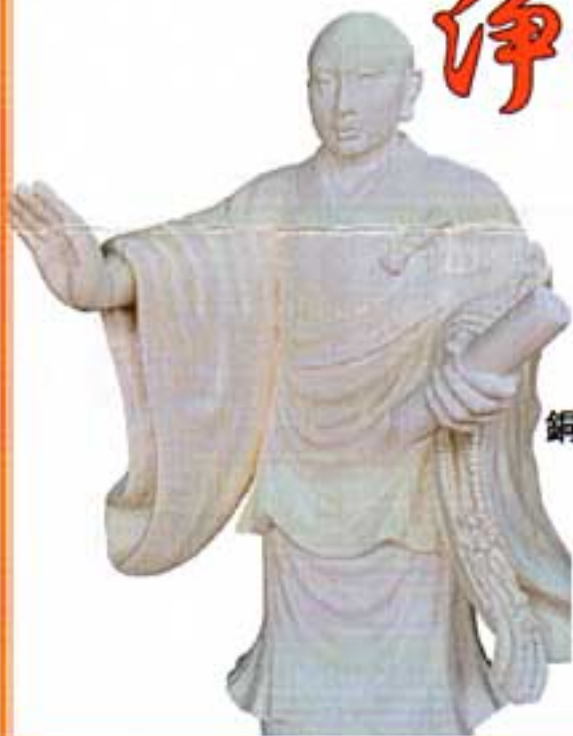
第27号

発行日 平成23年 12月 15日

発行所 千葉県茂原市茂原 1201  
日蓮宗東身延 本山藤原寺  
TEL. 0475-22-3153  
発行責任者：増田 寶泉 総務執事

## 掲示板

# 日蓮大聖人大銅像建立 浄財勸募中



日蓮大聖人の大銅像を建立致します。

当山の檀信徒並びに

各寺院の御住職、檀信徒の皆様方、

銅像建立に賛同していただける方々の

ご協力を心よりお待ちしております。

お早めにお申し込み下さいますよう

お願い申し上げます。



## 貫首様のお言葉

過去の十年と将来の十年について



私が当山の住職に就任したのは平成十三年の暮れのことです。十二月三日に宗務院で住職承認の辞令を交付されまして、十二月十二日に入山式をしました。そして二十五日から薬原寺で居住するようになりました。それから今年まで十年が経ちます。

健康でいられましたし、総代、世話人、常在講、柔和会の方々の協力がありましたので、無事に今日まで来られました。総務始め山務員も一生懸命やってくれたからであります。でも一番大きな支えは東京に残してきた家内と俵の援助であります。その他当然のこと

はありますが私を取り巻く全ての人々の好意に依るところでありまして、お檀家の皆様のお寺に対するご協力もその一つであります。

このお寺は非常に行事が多い本山です。身延山久遠寺や池上本門寺、中山法華経寺ほどではありませんが、日蓮宗の中では伝統行事を大変良く守ってきています。

その行事をやって行くには大変な労力がかかりますが、先に述べた方々のお力添えでどうかやってこれました。

これらの行事を今後の十年間もやっていきますから、今まで一般檀信徒の方々の参加が少ないのですが、どうか大勢の方々がご参加下さい。

このお寺はいろいろな行事をこなしながら、お檀家のご協力で普通には運営ができません。ただ建物を直したり、建物の内部を立派にしたり、仏像を直したりする費用が不足しております。

その為、私財をなげうったといえは聞こえが好いのですが、本久寺から支援を得て、十年間で一応境内地や建物の整備と堂宇内部の荘厳をやってきました。

しかし、どうしたら檀信徒の方々がもっとこ

のお寺に誇りを持っていただけるか日夜考えた結果、門祖日向聖人の第七百遠忌を期して日蓮大聖人の日本一の大銅像を建立することにいたしました。

昨年、平成二十三年の十二月二十四日に建立資金寄附勸募のお願いをしました。当初の目論見通りにいきません。お檀家のご協力もまだ少ないです。門末寺院、法縁寺院のご支援もこれからです。しかしこれからご協力いただけるでしょうし、必ず出来ます。

十年後を展望すると、薬原山上に日蓮大聖人のご尊像がそびえ立ち、大勢の参拝の人々がお出でになるために、駐車場がコンクリートで整備され、横には休憩所やお手洗いが設置されているでしょう。

仏殿内陣は彩色された格天井となり、十面の漆喰の壁には十界のレリーフがはめ込まれているであります。

書院の改築が計画されているかも知れませんが、荒唐無稽の話ではありません。大銅像が建立されれば可能となります。大銅像の基壇の中には千五百を超える納骨施設が出来ます。

必ず大勢の人々が使用され、檀家となってお寺を支えて下さるでしょう。



# 行事記録

ホウロク灸

(平成二十三年七月二十一日)

汗ばむ陽気の中、土用の丑の日に当たる七月二十一日、華経房にてそれぞれ頭に乘せたホウロクの上のもくさに火を付け、その香りでお堂が充満した中で、貫首様を導師にホウロク灸の一座目が始まりました。

各々暑い夏を乗り切れるように暑気封じや、子どもから疳(かん)の虫を出す虫封じを祈念し、祈祷を受けました。今年も百二十一人の方がホウロク灸を受けました。



盂蘭盆施餼鬼会

(平成二十三年八月十五日)

今年もお盆の中日である十五日午前九時から持田貫首親下大導師の下、施餼鬼法要が厳修されました。今年には五十の新盆の霊位が施餼鬼供養を受けられました。

その後、大堂に設置された三つの高座にて誦読文供養が行なわれました。今年も多くのご親族、縁者がお参りに来られました。

川施餼鬼会

(平成二十三年八月二十四日)

茂原公園弁天池前にて午前十時より川施餼鬼が厳修されました。総代を始めとした檀信徒が参列しました。水死人の霊を弔うために、川岸や舟の上で行う施餼鬼供養の事を川施餼鬼と言います。今年には東日本大地震によって引き起こされた津波で多くの方が亡くなっており、その供養も行ないました。

その後、忠霊塔、御廟所、無縁碑の順に移動しそれぞれ施餼鬼供養が行なわれました。



修復前→



修復後→

門祖講

(平成二十三年九月三日)

当山第二世の日向聖人の御命日である九月三日に、日向聖人を門祖とする茂原法類の寺院方が集まり、大堂にて法要が厳修されました。

今回は立正大学仏教学部仏教文化財修復研究・実習室に修復を依頼していた日向聖人像が戻ってきましたので、その開眼も合わせて行ないました。見事に修復された日向聖人像は大堂左に安置されています。

修復費用は貫首様のご寄付によります。



## お会式

(平成二十三年十一月十二日)

今年も午後四時半、蕨原寺に向けて万灯行列が茂原小学校を出発しました。

大堂では午後五時から雅楽の演奏の中、持田貫首親下を大導師に式衆が入堂し、お会式音楽大法要が厳修されました。

読経の声が堂内に響き、徐々に照明が消え、灯明の厳かな灯りの中、筆頭總代安藤藤勇様によって献灯が奉納されました。

法要終了と同時に万灯行列が総門に到着しました。蕨原寺、妙源寺、信行寺、正蓮寺、妙楽寺、鏡濟寺、東光院、妙弘寺、実相寺、立正校正会の順に大堂前にて万灯奉納が行なわれました。

万灯講の代表として妙弘寺万灯講の鬼島義昭様による奉告文の後、修法師会による大衆修法が行なわれました。



## 子育て観音大祭

(平成二十三年十二月十日)

晴天に恵まれて、午後四時から子育て観音様の前で大祭が持田日勇親下御導師のもと厳修されました。総代、世話人、常在講、柔和会が参列し、読経の後、子ども達の健やかな成長を願い修法を受けられました。

### 東日本大震災義援金活動

檀信徒の皆様のご協力を頂いた日蓮宗被災寺院救済義援金は七四五〇〇〇円に達し、蕨原寺提出金を含め二百万円を日蓮宗宗務院に送らせて頂きました。御協力誠にありがとうございました。

毎月十一日に行なっている街頭義援金活動も七月、九月は茂原駅前、十月はアスモ、十一月は茂原駅前にて総代を初めとした皆様と行ないました。七月は六八九三七円、九月は五八五五五円、十月は五七二五〇円、十一月は四五六一〇円集まりました。十二月は街頭義援金活動の一区切りとしてアスモにて総代、世話人、常在講、柔和会の皆様全員と活動致しました。一一四〇七〇円集まりました。集まった義援金(三四四四二二円)は茂原市役所に全額寄付致しました。

また平成二十四年三月十一日(日)午後二時半より東日本大震災の物故者第一周忌の慰霊法要を当山にて行なう予定です。



## 新山務員紹介

本年九月一日より蕨原寺に務めさせていたたく事になりました。千葉市花見川区長作町の長胤寺住職渡邊義生上人の弟子、渡邊義宣と申します。

平成二十二年度信行道場を出まして、今年の春に立正大学仏教学部宗学科を卒業致しました。

まだまだ若輩者故、至らぬ点が多々あると思いますが、日々精進して参りますので今後とも宜しくお願いいたします。

日蓮大聖人銅像寄附奉納者一覽

日蓮大聖人銅像建立の寄附に御協力いただき  
 ありがとうございます。また、  
 今後とも御協力宜しくお願いいたします。  
 (肩書きのないのは当山檀信徒です。)

平成二十三年七月二十七日

十二月十五日

申込金額	寺院名	芳名	金額
五百万円	実相寺住職	島山慈浄殿	十万円
三百万円	本行寺住職	冨永一道殿	六万円
二百万円	長胤寺住職	三枝組殿	五万円
百二十万円	実教寺住職	渡邊義生殿	二万円
六十万円	東光院住職	横堀喜六殿	二万円
五十万円	妙正寺住職	三宅貫久殿	二万円
三十万円	正法寺住職	豊田日圓殿	一万五千円
	智恩寺住職	植松美良子殿	一万円
	妙安寺修徒	齋藤邦昭殿	一万円
	妙安寺修徒	高佐日明殿	
		西山昌秀殿	
		吉田圭佑殿	
		吉田雄基殿	
		前田嘉代子殿	
		泉和殿	
		大和久京子殿	
		金板光剛殿	
		木村正博殿	

金額	芳名	金額	芳名
二十万円	本久寺檀徒	熊切四郎殿	
十万円	金城寺住職	白井忠雄殿	
六万円	本龍寺住職	竹内勝利殿	
五万円	山本ウメ子殿	久美智子殿	
二万円	石塚武志殿	長谷川茂殿	
二万円	阿部トヨ子殿	久野桂子殿	
一万五千円	阿部トヨ子殿	山崎亮明殿	
一万円	岸野泰文殿	横堀芳江殿	
一万円	鶴澤信夫殿	館田咲枝殿	
	正木かず子殿	林トキ子殿	
	橋本英廣殿	北原輝信殿	
	高橋俊隆殿	伊藤瑞叡殿	
	秋山恵子殿	山本ウメ子殿	
	秋葉上し子殿	石塚武志殿	
	秋葉聡美殿	阿部トヨ子殿	
		阿部トヨ子殿	
		岸野泰文殿	
		鶴澤信夫殿	
		正木かず子殿	
		橋本英廣殿	
		高橋俊隆殿	
		秋山恵子殿	
		秋葉上し子殿	
		秋葉聡美殿	

合計金額	千円	合計金額	千円
二億三千三百二十万五千円		三万円	芳名
一億三千三百八十二万三千円		六千円	榎本武久殿
		四千元	齋藤正明殿
		三千元	鬼島なか殿
		二千元	岡本一子殿
			皆川信男殿
			弓削博子殿
			青柳征三殿
			石井文蔵殿
			岡本和三郎殿
			片岡剛殿
			川野富殿
			酒井有殿
			正林一夫殿
			鈴木正枝殿
			鈴木久枝殿
			野口歌子殿
			若林文江殿
			渡辺良江殿
			山田権四郎殿
			池澤佐伎子殿

東日本大震災義援金寄付者名簿

日蓮宗寺院復興並檀信徒救援の義援金に御協力  
 いただき、ありがとうございます。

平成二十三年七月二十二日

十一月二十五日

申込金額	芳名
三万円	麻生勝民殿
一万円	榎本武久殿
六千円	齋藤正明殿
四千元	鬼島なか殿
三千元	岡本一子殿
二千元	皆川信男殿
	弓削博子殿
	青柳征三殿
	石井文蔵殿
	岡本和三郎殿
	片岡剛殿
	川野富殿
	酒井有殿
	正林一夫殿
	鈴木正枝殿
	鈴木久枝殿
	野口歌子殿
	若林文江殿
	渡辺良江殿
	山田権四郎殿
	池澤佐伎子殿



# 行事案内

## 年間行事

十二月十日(土) 十六時

子育観音様大祭

十二月三十一日(土) 二十二時

お焚き上げ、除夜鐘

一月元旦(祝)

新年祝博覧会

一月一〜三日

新年祈願会

一月九日(祝)

御頭講会

二月三日(金) 十五時

節分豆撒式

二月十二日(日) 十時半

観音堂春季大祭

二月十四日(火) 十一時

弁天祭

二月十五日(水) 十三時半

稲荷大祭

三月二十日(月) 十時

春季彼岸会

## 華経房例祭

毎月一日の十一時から華経房にて例祭を行なっております。多数の御上人によるご祈禱が受けられますので、檀家に限らず多くの方の参拝をお待ちしています。

## 藤原寺書道研修会

当山では原則として毎月第一、第三日曜日の午後二時から書道の研修会を開催しています。日展作家、読売書法会理事、謹慎書道会理事の金井晴雲先生に指導をうけております。多くの方の参加をお待ちしていますので、ぜひ寺務所までお問い合わせ下さい。

# 奉納

○持田耀子様(眞首親下夫人)

仏殿須弥壇後背金箔貼

○熊切和夫様 新米三〇kg

○後藤妙子様 新米三〇kg

○田中妙定様 新米三〇kg

○横堀せい様 新米三〇kg

○金坂青果市場様 野菜沢山

○柔和会様 新米八〇kg

## 門祖日向聖人第七百遠忌 記念事業概要

平成二十五年十月三日(木)

日向聖人第七百遠忌音楽大法要 於、大堂

大導師 身延山法主

内野日絶親下

平成二十五年十月五日(土)

講演会 於、茂原市民会館

第一部 東京大学教授

箕輪顕量先生

「日本佛教の特色と将来」

第二部 千葉大学名誉教授

佐藤博信先生

「茂原地域における法華信仰の展開」

平成二十五年十月六日(日)

音楽会 於、茂原市民会館

オラトリオ日蓮聖人

演奏 茂原文藝楽団

指揮 土田政昭氏

合唱 茂原混声合唱団 他

指揮 中川知夫氏

記念出版

「藤原寺宝物目録」の発行

